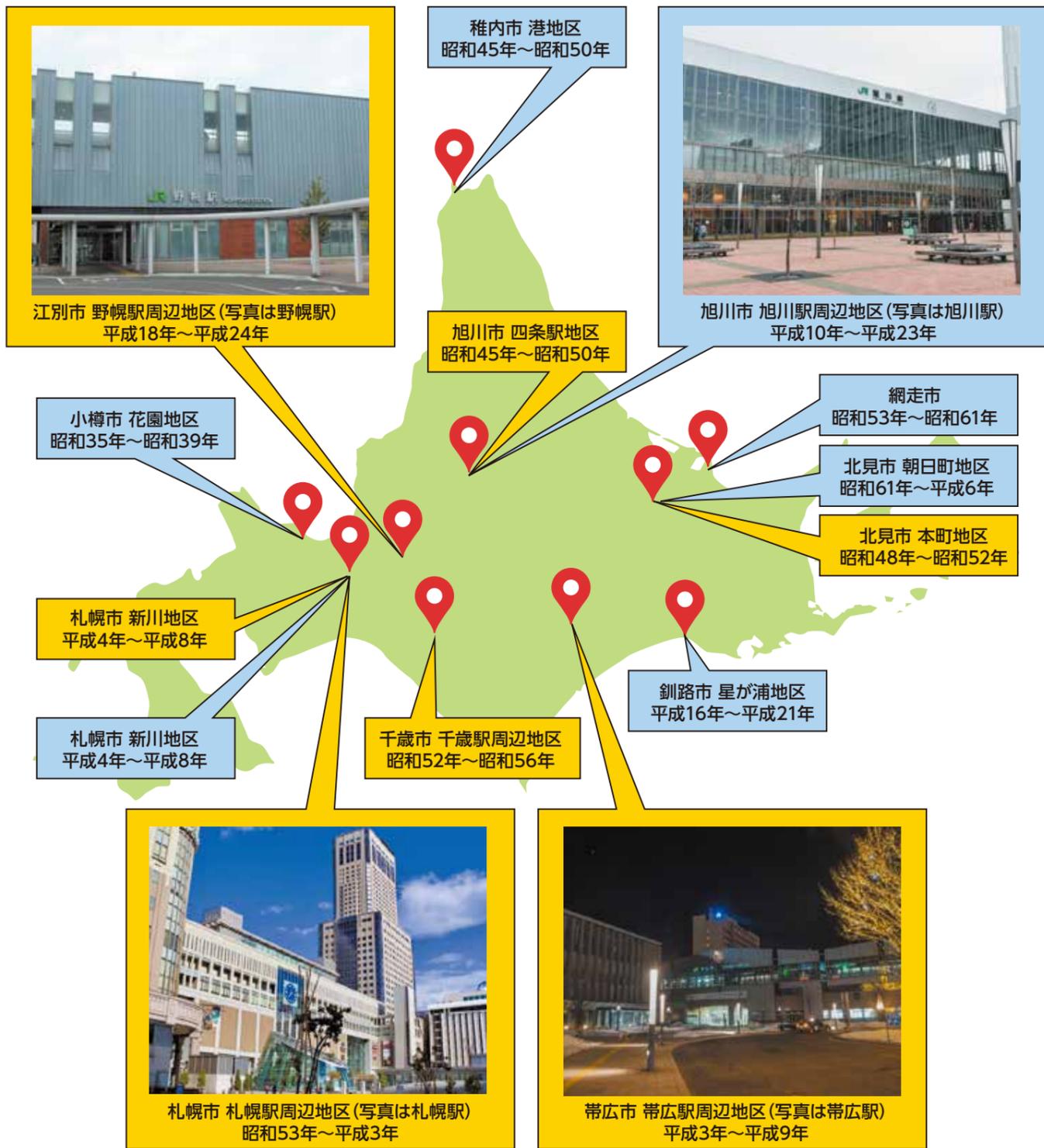




道内鉄道高架済の自治体



凡例 連立 限度額

限度額は、限度額立体交差事業の略で、道路より鉄道を立体化させた方が経済的に有利な場合や市街地形成上、道路の立体化が好ましくない場合などに実施する事業を言います。また、連立は連続立体交差事業の略で、踏切事故をなくすために実施したものです。

なぜ今、釧路に「鉄道高架」が必要か

釧路地方総合開発促進期成会は、鈴木知事に釧路市の鉄道高架の整備を求めています。ここでは現在の釧路市が抱える課題と高架事業のメリットの代表例をご紹介します。



第2回釧路都心部まちづくりフォーラムで公表されたイメージ図

■ 跨線橋が築50年を経過

釧路駅周辺の旭跨線橋と北中跨線橋は、いずれも建築から50年以上経過しています。耐用年数から見ても、対策は喫緊の課題です。2つの跨線橋の架け替え工事をするよりも、メリットが多いのが鉄道高架事業です。

■ 津波発生時の避難路に

津波浸水予測図によると、大津波が発生すると釧路駅周辺は約5mの浸水深が予測されています。鉄道で分断されている釧路市街地。自動車で行けるのは2つの跨線橋のみで、災害時は大きく迂回して避難する必要があります。鉄道高架は市民の命を守る防災機能が強化できます。

■ 市内中心部の活性化のため

鉄道高架によって生まれる空間で市民や来訪者が憩い楽しめる空間の創出が期待されています。ひがし北海道の賑わいの中核となる公共公益機能を充実させ、観光で訪れる来訪者を引き付けることで、釧路市中心部の活性化が期待できます。

■ 鈴木知事「釧路市内の調査を開始」

令和5年度第三回定例道議会で公明党代表質問に立った田中ひでき。鉄道高架問題に関して鈴木知事は「道としては、今年度から国の予算を活用し、釧路都心部における交通量や土地利用などの現況調査を開始したところ」と言及。釧路市と密接に連携して検討していくと答弁しました。



道政に関するご意見・ご要望をお寄せください

北海道議会議員 田中ひでき事務所

〒085-0046 釧路市新橋大通8丁目2-19 ミヤシタビル 3F-B
TEL 0154-65-8063・FAX 0154-65-8064

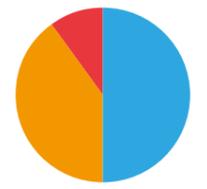


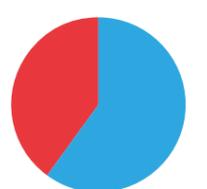
田中ひでき オフィシャルwebサイト
制作/様新生

比較でわかる!

こせんきょう

釧路市の鉄道高架と跨線橋架け替え

	想定される 事業費負担割合 ※過去の実績によるイメージ	津波などの 災害対策 浸水深予測 5m以上	新駅建設 及び 駅周辺 再整備	共栄新橋 大通の 賑わい創出	歩行者 利便性
鉄道高架事業をする場合					
 <p>現在の釧路駅周辺(1961年改築・62年経過)</p>  <p>鉄道高架化区間のイメージ</p> <p>※イメージ※</p> <p>釧路都市部まちづくり計画【事業構想編】(概要版)</p>	<p>総事業費 JR4%の負担を除く 都市計画事業者 負担額</p>  <p>国 50% 道 40% 市 10%</p>	 <p>内陸部への 避難経路 増加</p>	 <p>高架下空間 の活用含む</p>	 <p>鉄道南北の 市街地 一体化</p>	 <p>高架下の 自由通路 整備など</p>

跨線橋の架け替え工事だけの場合					
 <p>旭跨線橋(1965年・58年経過)</p>	 <p>国 60% 道 40%</p>	 <p>現状と 変わらず</p>	 <p>現状と 変わらず</p>	 <p>現状と 変わらず</p>	 <p>駅地下 歩道と 人道橋のみ</p>
 <p>北中跨線橋(1973年・50年経過)</p>	 <p>国 60% 市 40%</p>	 <p>現状と 変わらず</p>	 <p>現状と 変わらず</p>	 <p>現状と 変わらず</p>	 <p>現状と 変わらず</p>

それぞれ仮橋の設置が必要となり、合計4本の橋を架ける事になります。

江別市高架事業の事例 (負担割合)

- 延長: 約2.4km ● 総事業費: 153億円
- 事業期間: 平成18年~平成24年(事業認可~完成)



江別市と北海道の負担割合 江別市:北海道=1:3.69

例) 江別市負担16億円を事業期間7年間で分割すると、年間2.28億円
江別市の実質負担額としては交付税措置される0.45億円を除くと年間1.83億円
(起債償還1.6億円、一般財源0.23億円)

釧路市跨線橋補修状況

- 旭跨線橋(道道釧路鶴居弟子屈線《柳町公園通》)
 - ・ 現橋完成年度: 昭和40年(1965年)《58年経過》
 - ・ 補修履歴: 令和1年~
伸縮装置交換(令和1年、令和2年) 支沓補修(令和2年、令和5年)
- 北中跨線橋(市道:宝橋通)
 - ・ 現橋完成年度: 昭和48年(1973年)《50年経過》
 - ・ 補修履歴: 平成29年~
橋脚ひび割れ補修(平成29年) 橋面補修(平成30年) 地覆補修(令和3年)
桁塗装塗替(令和4年)